

教育における国際通用性を考える

～ 自律的学習者の支援システムの構築に向けて ～

2020年

3月5日(木)

13時～15時

文京キャンパス

総合研究棟 I・13階 大会議室

松岡キャンパス

講義棟会議室 [同時配信]

敦賀キャンパス

多目的会議室 [同時配信]

現在、本学では**13段階GPAを他学部にも適用する**

ことの議論が進められています。この議論を進めるには、「国際通用性を備えた大学教育とは何か」という土台の部分も含めて考え、情報共有する場が非常に重要です。

そこで、お茶の水女子大学の半田智久先生から、GPA制度の海外動向や先生が開発された functional GPA の考え方を学び、本学の教育の国際通用性や自律的な学習者の育成支援を考える機会にしたいと思います。

13:00

開会

13:00～13:05

開会挨拶

福井大学 理事(教育, 評価担当)・副学長
高等教育推進センター長

安田 年博

講演

13:05～13:55

G P A 制度の活用と展望

お茶の水女子大学 全学教育システム改革推進本部
教学 I R・教育開発・学修支援センター 教授

半田 智久 氏
(はんだ もとひさ)



13:55～14:05

質疑応答

報告

14:05～14:30

国際地域学部における国際通用性のある教務システムの取組み*

福井大学 国際地域学部 教授

月原 敏博 氏

討論

14:30～14:55

全体ディスカッション

15:00

閉会

* 2018年度「教育改善のための重点配分経費」採択プロジェクトの成果報告